



日の出の貫通扉窓ヌキ(1/9・中根一金上)



第166号

勝田 阿字ヶ浦

# 延伸許可 夢の実現に1歩前進

## 阿字ヶ浦～海浜公園西口付近の3.1km 2024年度の開業めざす

15年前、廃線の危機に立たされた湊線の鉄路延伸をその時だれが想像できたでしょうか……。1月15日、国土交通省に出向いた吉田社長と大谷市長へ、赤羽一嘉国土交通大臣名で「延伸事業許可状」が同省の上原淳鉄道局長より手渡されました。夢の実現へ大きな一歩となりました。一度は廃線の話が浮上した地域鉄道が、全国でも例がないという延伸事業にこれから本格着手します。

### 交流人口拡大と地域活性化期待

延伸の基本計画によると、ルートは阿字ヶ浦駅から国営ひたち海浜公園西口付近までの3.112km。このうち高架・橋梁部分が約2.1km(68%)で、既存道路は高架でまたぐこととなります。途中、阿字ヶ浦駅から約700mの阿字ヶ浦土地画整理事業地内に「新駅1」をつくり、海浜公園西口近くの県土地開発公社所有地内に新たな終着となる「新駅2」をつくる計画です。新駅2には交通ターミナル機能も合わせて整備します。

事業費は約78億円。このうち3分の1が海浜鉄道の負担となり、残りを国県市で分担する計画になっています。

今後より具体的な工事計画をまとめ、来年1月の「工事施工認可」の取得を経て、2024年度の開業に向けて動き出します。

延伸により、年間200万人以上が訪れる国営ひたち海浜公園へのアクセスの多様化が図られ、鉄道を利用して公園を訪れる利用者の増加が見込まれるとともに、併せて新たな終着駅に交通ターミナル機能を整備することによる交流人口の拡大や地域活性化が期待されます。

2013年5月に官民一体となった「ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸を実現する会」が発足してから約7年。地域と沿線住民の夢が国にも認められました。

今後も地域の皆様の湊線に対するご協力と見守り、そして湊線の積極的なご利用をお願いいたします。



現況図と延伸ルート平面図の重ね合わせ

### 期待の大きさに身の引き締まる思い

「令和2年8月11日付けひ海鉄16号をもって申請のあった第一種鉄道事業については、許可する。令和3年1月15日 国土交通大臣 赤羽一嘉」

第1報が報道されるや否や多くの方からお祝いのお言葉を賜り、あらためて皆さまの期待の大きさに身の引き締まる思いです。これまでご支援いただいた皆さまには、深く感謝いたします。

国土交通省の見解は「通勤通学などの沿線の住民と観光客の利用が見込め、安定した収益が期待できる」(NHK報道による)。

許可申請にあたっては、鉄道事業として十分収益性が見込めることに加え、地域経済活性化にも貢献するものと試算していましたが、それについて国からもお墨付きをいただいたこととなります。

世界中から国営ひたち海浜公園へのアクセス手段として、そしてひたちなか市と周辺地域活性化の起爆剤として、無限の可能性を秘めた夢の第1歩。

今後は、1年後の工事施工認可申請、令和4年度の本格工事開始、令和6年度の開業を目指し、皆様のご支援をいただきながら準備を進めていくこととなります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。(海浜鉄道・吉田千秋)



市から上原淳国土交通省鉄道局長(右)へ交付された延伸許可状を吉田社長(中央)と大谷市長(左)が受け取る様子。写真・ひたちなか市提供

### 駅の環境整備ありがとうございます

コロナウイルス感染拡大防止のため2月の駅環境整備は休止(自粛)と致します。いまのところ、3月は予定です。

駅名	2月7日(日)	3月7日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	小川 龍之口町
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅と、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

### 冬バージョンの応援券と硬券フリー切符を発売中

2月28日まで、湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の冬バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で販売しています。

セット価格は1,000円です。切符は特大の「D型倍寸硬券」で、旧型車の4連走行のイラストが描かれています。また応援券は、オーロラの夜空の下を走る湊線のイメージ写真です。

四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口に呈示された方にはプレゼントを差し上げています。

※フリー切符には当分の間、旧価格が印刷されています。



**野菜と干物の朝市**  
毎月第一日曜日に開催  
中止となる場合があります

2月7日(日)予定  
午前9時～11時頃まで  
那珂湊駅1番線ホーム  
※ホームへの入場は無料です。

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,270名を達成しました!

- 【海浜鉄道関係】
    - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
    - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
  - 【応援団関係】
    - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
    - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
    - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)
- ※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

### 新型コロナウイルス終息までともに頑張りましょう!

## ニューノーマル時代の沿線付加価値の創出に全力

ひたちなか海浜鉄道 社長 吉田千秋

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年の湊線は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、観光などによるご利用が激減、営業収入は開業以来最悪を記録することとなりました。

コロナについては、年が明けてもまだ収束の兆しは見られず、しばらくは厳しい状況が続くものと予想されます。

こうした中、湊線では状況打開のため、鉄道業界で共通の課題である「ニューノーマル(新しい生活様式)における沿線付加価値の創出」をテーマに、これまで以上に市民の皆さまと連携しながら、営業増進に努めていきたいと考えております。

これまでスポットを浴びてこなかった鉄道の魅力をアピールできる車庫見学やツアーの誘致、市の財政強化にも貢献するふるさと納税との連携(返礼品として、列車貸切などの特典を用意)、沿線の特産品や観光施設との連携強化など、会社独自の活性化策に加え、これまで以上に市民のみなさんや行政と力を合わせた施策を推し進める所存です。

通勤や観光については、かつてのようなご利用は見込めないものと思われませんが、こうした開業以来の社是である「市民協働による鉄道と地域の一体化した再活性化」に資する施策をさらに進めることにより、十分難局は乗り越えられると考えております。

ひとまずの目標は、新規施策による減収の穴埋め。そして、将来に向けての基盤再強化。今年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

### 「湊線ダイアリー」毎日連載開始

#### 茨城新聞に応援団写真部が出稿

湊線沿線風景を写真で綴る「湊線ダイアリー」がことし元日から茨城新聞でスタートしました。

写真撮影とコメントは船越知弘ら4人の応援団写真部員が交代で担当します。連載は1年間365日(休刊日は前日に掲載)。原則、同紙の「県央版」に掲載されます。はっきり言ってほとんどボランティア。大変です!

連載開始にともない、掲載紙面を切り抜いて1か月分貼れる「専用スクラップノート」が購読販売店などで無料で配布されています。応援団にも少しストックがあります。

連載開始から約1か月近くですが、反響は上々で、多くの方から「見たよ。大変ですね」など声をかけていただいております。同じく毎日更新を続けている「応援団facebook」ページと併せて応援よろしくお願ひします。



湊線ダイアリーの案内チラシ(左)と専用スクラップノート

### 「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗りしたお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書に参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。



「応援団報」カラー版をパソコンで <http://minatosen.com> 《湊線どっと混む》